



「グラフィティ」 吉峯慎悟 明画堂（北海道）

■ 選評

昨今、特に映像分野で人気の効果“ティール&オレンジ”を用いた、若い女性のポートレートです。オレンジと青緑のコントラストで人の肌色を強調し、独特の世界観を生み出すとされる手法を営業写真に応用した点に新しさを感じます。わずかに開いた唇や見えそうで見えない脇など、魅せるポージングも計算され、アンニュイな表情が画面をより魅力的にしています。そして、ティール&オレンジによって、いやらしさのないお洒落な画面に昇華され、「今の若い女性はこういう写真を撮ってほしいのでは」と思わせる1枚に仕上がっています。背後に「ヴィーナスの誕生」が垣間見え、この女性が「今誕生し、世に出て行く」というストーリーも感じさせる秀作です。

※「ヴィーナスの誕生」はイタリアの画家ボッティチェリ作、ルネサンス最盛期を代表する名画の一つ。女性の神秘性を描いているとされ、世界的にも有名な作品。

■ 喜びの声

このたびの審査員特別賞受賞に際し、まずはこれまでお世話になった修業先の師匠や北海道の恩師、そして帰省後すぐにシャッターを預けてくれた両親に感謝を伝えたいです。この作品は「絵画」をテーマにしており、衣装も一から手作りしていただき、美容チームとも打ち合わせを重ね、記念写真の枠を超えた撮影に挑戦しました。修業生当時、広告表現のライティングやワークスタイルに興味を惹かれた私は、修業先の師匠の元を期限前に離れる決断をしました。その後、商業写真の世界に入ってからはその自由さに驚き、新たな表現を見つけるためのヒントを得ました。改めて振り返ると道を急ぎすぎた後悔も残りますが、師匠が温かく送り出してくださったことに今は感謝の気持ちでいっぱいです。北海道では多くの若い仲間がそれぞれ独自の撮影スタイルで活躍しています。そんな中、自身が表現したいことと、求め

られていることのギャップに悩んでいた時、とある先輩から「日々の決まった撮影だけではクリエイティブなもの生まれません、まずは自分が楽しいと思えることを増やすといいよ」と教えていただきました。この言葉が心に深く刻まれ、今思うと確かに今回の作品を撮影している時は全て楽しい時を過ごしていたなと感じます。まずは自分が楽しむこと。そして自分だけの撮影スタイルを追い続けて、お客様ともより楽しい時間を共に過ごしていきたいと思っています。

